

ニ及ホサトスルハ男モ最捷徑ナリト信スルカ故ニ何事モ  
切ノ節ヲ即チ成ルアラスニトコト望ムト述ヘテ言ハレ  
ハ代議者ノ研究ニ上テ議セラレテ事ナリト所  
リ

之ニ對シテ古改進黨労働組合ノ飯石豊一ノ反對  
京都聯合会其井民之助大坂電氣労働組合中村兼四  
一ノ反對ニシテ採決ノ結果尙場一致ヲ決

第九、產業労働調査ニ于ル件 (大坂聯合会)

提案者ハ(提案者氏名ヲ述ハサレテ不明)吾々<sup>出志</sup>  
至急ニシテ種々ノ欠陥アルヲ見出シテ即チ吾等が地  
方ノ情況及以資本家ノ政策ニ通曉セサルガ故ニ年  
議等ニ於テモ採決シ又ハ一部要求ヲ撤回セサルノ已  
ヲ得ヤル狀況アル故ニ吾等ハ新クニ戦術ヲ開拓

セナケレバナラヌ又夫レハ各種ノ産業至情ニ對シテ  
情勢ヲ調査研究シテ之ガ対策ヲ講セナケレ  
バナラヌ又此ノ意味ヲ於テ連續的ニ労働条件或ハ  
特殊ノ事情ヲ調査シ置クノ必要アリ

議長ハ贊同討論ヲ消畧採決ヲ宣シタルカヲ教  
ニテ可決

第十、S.M.U 議案ノ件 (神戸聯合会)

奥田宗太郎提案理由トシテ労働運動ヲ単ナル労働  
肉労働者ノニ組合運動ハ既ニ過渡期トシテ殊  
著<sup>際</sup>實施モ自擧<sup>ノ</sup>裡ニ迫リ世<sup>ニ</sup>政治<sup>黨</sup>組織ノ  
声<sup>ハ</sup>今<sup>モ</sup>高潮ニ達ス此ノ時ニ於テ吾等ハ今更  
シテ<sup>シテ</sup>雅量ヲ示シ<sup>テ</sup>頭<sup>腦</sup>労働者ノ組合ヲ設<sup>ク</sup>也  
トスルノ必要ヲ感スルヤ切ナリ世界各國ニ於テ